

# 広島市乳幼児教育保育支援センターだより

## 令和3年度下期の乳幼児教育保育アドバイザーによる支援事例

### 「保護者向け講演会」（11月）

#### 【支援内容】

元幼稚園長のアドバイザーが幼稚園を訪問しました。アドバイザーは、保護者と一緒に保育を参観した後、遊びを通じた学びについて、具体的な子どもの様子を交えながら、保護者向けに講演をしました。



#### 【園の感想】

講演の中で、保護者の日頃の子育てや園で子どもと関わる様子を認めてもらったことにより、講演を聞いた保護者の励みになりました。また、遊びを通して学びを育てている幼児教育について、保護者の理解を深めることができました。

### 「未就園児保護者への支援」（11月）

#### 【支援内容】

元保育園長のアドバイザーが、幼稚園を訪問しました。アドバイザーは、園庭開放に参加した未就園児の親子に声を掛けながら、子どもと一緒に遊びを楽しむことについて保護者にアドバイスをしたり、保護者からの相談を受けたりしました。

#### 【園の感想】

来園された親子に、アドバイザーがにこやかに話しかけ、保護者のことを認めながら接して下さる様子が素敵でした。また、アドバイザーが優しく、穏やかな雰囲気の中で保護者にアプローチしたり、話しかけたりする姿を見て、見習いたいと思いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を図りながら乳幼児教育保育アドバイザー派遣をしています。引き続き、ご活用ください。



## 地域の公立園・私立園が参加した公開実践の報告

幼稚園教諭・保育士等としての資質・能力の向上を図ることを目的に、広島市が今年度開始した公開実践についてご紹介します。公立の幼稚園・保育園のうち各区1園が近隣の園の先生方を招待し、乳幼児教育保育アドバイザーの支援を受けながら、保育の公開と乳幼児期に適した環境構成や援助についての意見交流を行いました。公立・私立の幼稚園・保育園・認定こども園・小規模保育事業所など多様な施設の先生同士が語り合うことで、非常に有意義な時間となりました。

保育の様子



意見交流の様子



#### 【参加者の感想】

- 子どもについて語り合うと、みんな同じ思いを持っていると感じることができた。
- 他園の保育を見学することは滅多にないので、公開実践を通して学ぶことが沢山ありました。
- 地域の保育施設が一丸となって、互いに学び合う機会となり、感謝しています。

#### 【実施園の感想】

- アドバイザーから具体的にアドバイスをいただいたことで、安心して公開実践をすることができました。
- 公開実践を行うに当たり、職員間で、保育の展開・環境や子どもの姿について語り合いを重ねることができました。
- 多様な立場の先生と子どもの姿を見て語り合うことで、色々な視点を知る機会となりました。これを機会に他園と交流をしていきたいです。



次年度も継続して行います。一緒に学び合いましょう。

## 【発行元】 「広島市乳幼児教育保育支援センター」

乳幼児教育保育アドバイザー  
派遣案内 QRコード

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目4番21号 広島市教育委員会事務局総務部教育企画課内

E-mail : nyuyouji@city.hiroshima.lg.jp

電話番号 : (082) 504-2833

Fax 番号 : (082) 504-2509



## 乳幼児教育保育アドバイザーからのメッセージ



1年間のまとめの時期となり、小学校への進学に向けて保護者と話す機会も増えますね。今回は、東 和子先生に「進学に向けての保護者へのアドバイス」についてお話を伺いました。

3学期も終わりに近づくと、進級や進学の時期がやってきますね。特に、小学校へ進む子ども達の保護者は、成長の喜びを感じながら、学校への期待感も高まっている事でしょう。しかし、一方では不安感も持っておられるかもしれませんね。そんな時に、園の先生から適切な声かけがあれば、保護者の安心感につながり、子ども達の楽しい学校生活のスタートを後押しできます。個人懇談や学級懇談の機会を活用し、適切にアドバイスをしましょう。小学校就学までに身に付いていればいいなと思うことについて、園での姿を捉えて、保護者と一緒に育ちを見つめ直してみるのはいかがでしょうか。

- あいさつをすることや「ありがとう」「ごめんね」が言えますか
- 「早寝早起き朝ごはん」という標語がありましたね、生活リズムはどうでしょうか
- 基本的な生活習慣が身についていますか
- 自分のことは自分でできますか
- 片づけがきちんとできますか
- 友達と仲よく遊べますか
- ルールやマナーを守れますか

一人一人の育ちは違いますが、ありのままの姿から、具体的に話せるといいですね。

また、小学校では「スタートカリキュラム」が作成されています。園での遊び中心の生活から、教科による学習、時間割に沿った小学校生活に滑らかにつながっていくよう工夫され、楽しく学校生活に慣れていくよう考えられています。さらに、教師間でも、園生活と小学校生活の接続について丁寧に連携が図られ、個々の子ども達に対応した取組がなされている事など伝えるといいですね。

子ども達も保護者も期待に胸を膨らませて、小学校生活へつながっていくようにしたいものですね。



## 令和3年度第2回広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修会（動画配信）

演題 「めざせ！真のプロ」

講師 学校法人有朋学園 かえで幼稚園園長 中丸 元良 先生

今年度第1回の研修会に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、広島市公式 YouTube での動画配信により実施しました。（配信期間2/2 ～ 2/17）

研修動画では、子どもの主体性につながる保育者の言葉がけや姿勢、保育者自身も主体性を発揮することで子どもの遊びや生活が豊かになることなどについて、保育映像を交えながら御講演いただきました。

### 【受講者のコメント】

#### 心に残ったことについて

子どもの主体性を大切にするためには、保育者の主体性も大切だという言葉が心に残りました。

保育とは、その子の幸せを願い、真心をもって接し、見つめ、一人一人が大切な存在であることを伝えていくことだということが心に残りました。

実際の保育映像を通して、子ども同士のやり取りや、保育者の関わりを見ることができとても勉強になりました。

#### 保育者の援助について

提案、共感、見守り、問いかけ…援助には様々な役割があることが分かりました。

問いかけの援助は、子どもの内面をどんどん引き出す魔法の対応であることを知り、今後の保育に生かしたいです。

子どもが何をしようとしたのか、意欲的に取り組んだことは何かについて考えることが大切だと学びました。

#### 今後の保育にむけて

保育のプロとして自分の言動に意図をもち、責任をもっていないといけないと思いました。

子どもの主体性につながるように「WHY」を大切に子どもをみていきたいです。

#### 講師資料より抜粋

#### 大きな保育者になるために（まとめ）

- ①「科学的方法」を大切に
  - 事実が語るものをしっかり見る
  - 真心に勝るものはない
  - 何でも whyをつけて考える
  - 分けて考えると分かりやすいこともある
    - ・遊びの要素
    - ・援助の段階
    - ・立ち位置と距離感など
- ②子どもの素敵などところを見つけよう、伝えよう
- ③つながることを意識しよう
  - 「見える化」と「問いかけ」は魔法の対応
- ④教育要領は「主体的」と「一人一人」で成り立っている

#### 今後の研修への期待

感染症が落ち着いたらグループワークをしたいです。

子どもの特性や能力を伸ばす援助について学びたいです。

次年度も開催いたします。皆様の参加をお待ちしております。